



ごあいさつ

このたび「ひまわり新聞」VOL. 15号を発行することになりました。
日頃より皆様方のご理解、ご支援に心より感謝申し上げます。
2023年(令和5年)卯年が始まりました。コロナ禍において三度目の新年となりますが、政府は、1月27日、新型コロナの感染症法上の位置付けを5月8日に「5類」に引き下げる方針を表明しました。今後も「新しい生活様式」を心掛けながら感染拡大に十分注意して参りたいと思います。

大好きなふるさと東金をもっと良いまちにしたい、市民の皆様の声なき声を届けたい、そんな思いで政治を志しました。そして、東金市議会議員としての6年間は、女性の視点から皆様に寄り添う気持ちを忘れずに、男性も女性も輝く東金のまちづくりを目指し、徹底した現場主義を実践して参りました。

昨年の12月議会において、市民の皆様からお預かりしたご意見・ご要望、そして自分の思いを込め、蒼政会を代表しての代表質問を行いましたので、その一端をご報告いたします。

コロナ禍で苦勞されている方々など全ての皆様が、これからも住み続けたいと思っていただける「健康福祉都市とうがね」をより具体的なかたちにするため、「東金市・千葉県・国」の連携が必要であると痛感し、その実現に向け、邁進して参りたいと思います。

皆様方の温かいご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

中村みえ

猪口邦子チャンネルのご案内



参議院 外交・安全保障に関する調査会会長
自由民主党 領土に関する特別委員会委員長

参議院議員 猪口邦子

猪口先生のご活躍の様子を YouTube「猪口邦子チャンネル」にアップしています。是非ご覧ください！

<https://www.youtube.com/channel/UCRRtK2cg5Rifm79Bv4hIG8g>

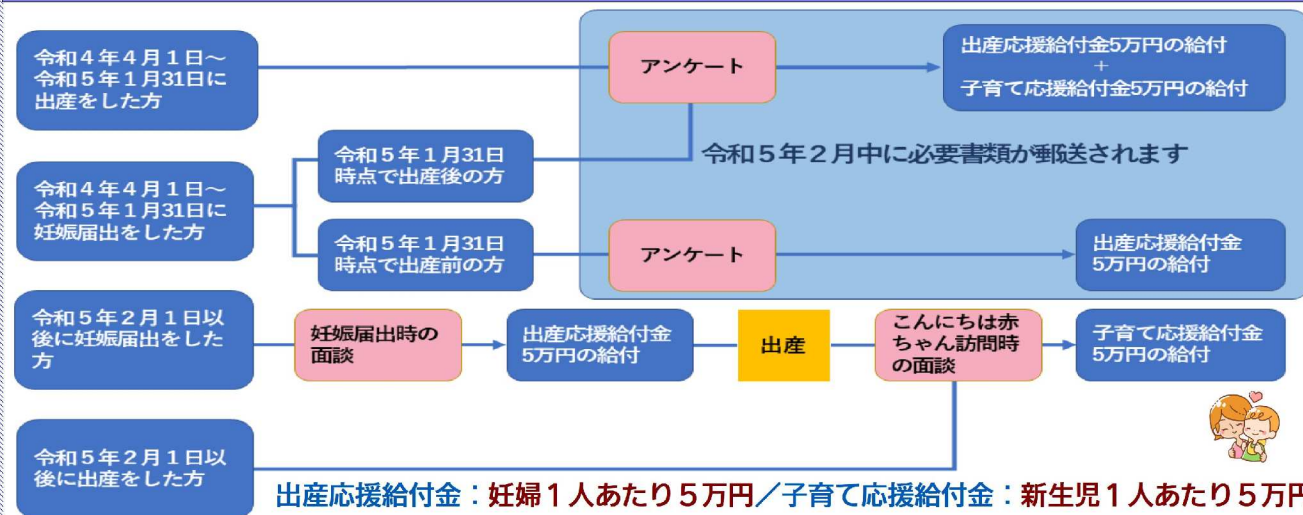


1月23日市議会臨時会 出産・子育て応援交付金事業／ガス料金値引き

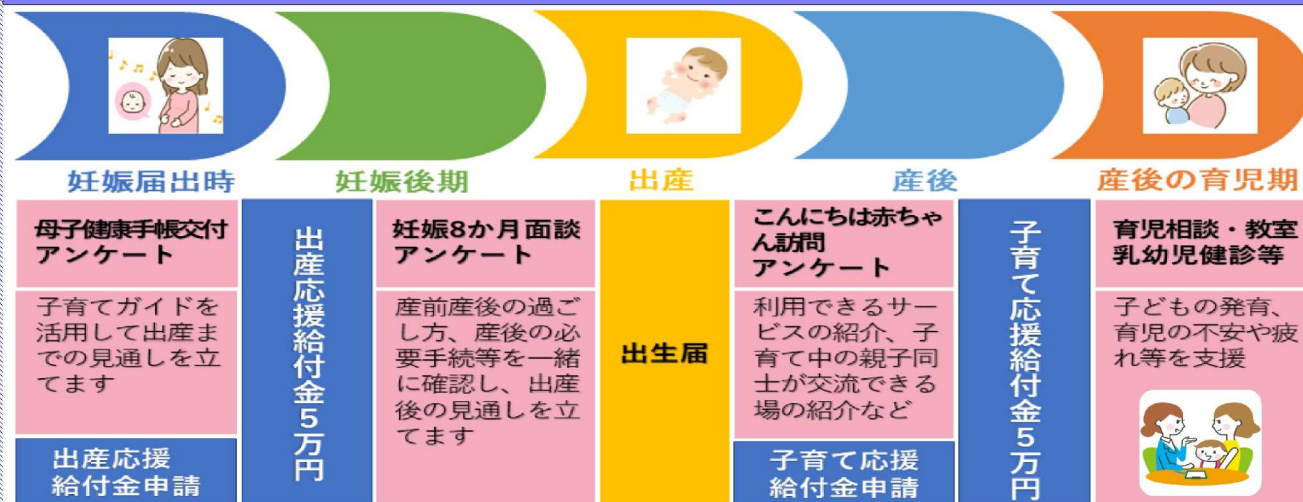
東金市では、国の「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」に基づく「出産・子育て応援交付金事業」と「都市ガス料金の激変緩和事業」に対応する事業について、約2,990万円の一般会計補正予算案と約9,880万円のガス事業会計補正予算案を1月23日の市議会臨時会に提出し、全会一致で可決、成立しました。

東金市では、国の「出産・子育て応援交付金事業」を活用し、全ての妊婦・子育て家庭が、より安心して出産・子育てができるよう、「伴走型相談支援の充実」と「経済的支援(出産・子育て応援給付金事業)」を一体として実施する予定です。

出産・子育て応援給付金事業



東金市の伴走型相談支援事業



地域で妊娠・出産・子育てをサポート

中村みえの提言が実現!!

実現1 移動販売の開始
高齢者の買い物支援をするため、食料品などを載せた車両による移動販売を開始

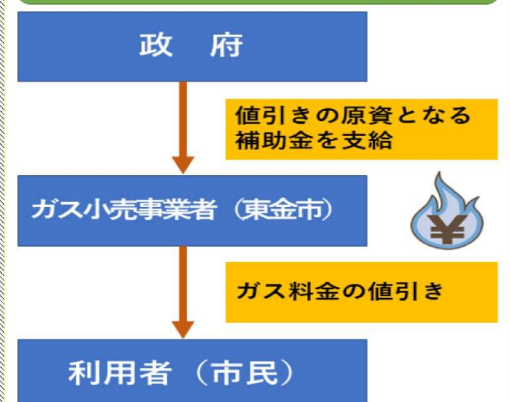
実現2 3歳児の預かり保育拡充
丘山・大和幼稚園で預かり保育を開始。引き続き市内全園での実施を要望中!!

実現3 新生児聴覚検査費用助成
新生児聴覚スクリーニング検査費用を個人負担なしで受検可能に(2021年4月より)

実現4 ひとり親家庭の養育費確保支援
国のモデル事業を活用し、県弁護士会と連携して無料弁護士相談を実施

東金市では、国の「都市ガス料金の激変緩和事業」を活用し、市営ガス料金を令和5年1月から8月までの使用分1㎡につき30円、9月の使用分1㎡につき15円、値引きする予定です。

ガス料金値引きのイメージ



12月定例会一般質問（代表質問）

①一般行政について

- ・令和5年度当初予算編成の方針について
- ・防災士の育成及び役割について

②産業振興行政について

③教育福祉行政について

- ・公立幼稚園について
- ・出産・子育て応援交付金について



令和5年度当初予算編成の方針について

質問：令和3年度一般会計決算で、市長の目標としている財政調整基金残高の18億円を達成したと聞いています。

市長は、「第4次総合計画」と「第2次都市計画マスタープラン」の計画に掲げる施策及び事業を着実に推進していくとのことですが、事業推進の財源をどのように予算配分されるのか、何に重点を置いて取り組まれるのか、事業実施において特に重点施策として市長が取り組みたいものは何か、お伺いします。

答弁：第4次総合計画の重点戦略事業として位置付け、人口の減少傾向を緩和する効果的な取組として考えられる「子育て支援の充実」や「学校教育の充実と人材育成の推進」といった事業、産業振興や雇用の創出に資する「新たな企業誘致の推進」、「農業経営の強化・安定による農林業の発展」、更には、住み慣れた地域に住み続けられるまちづくりを目的とした「公共交通ネットワークの再編」といった事業については、予算編成の中で特に重視しながら行って参りたいと考えています。



意見：第4次総合計画の重点戦略事業を、ほぼ全て、予算編成で特に重視されるとのご答弁ですが、例えば、本市の子育て支援施策に関する予算は、国・県主導で進められている施策が多く、国庫支出金や県支出金の割合が大きくなっています。そこで、これまで以上に、一般財源を有効活用して、早急に、適正な予算配分を行い、現在の課題や市民ニーズに寄り添った支援施策、例えば子育て世帯への手当や転入の強化などに充てることも検討すべきと考えます。



私の思い：本市の15～64歳の生産年齢人口は平成29年36,709人から令和4年33,271人と9.4%減少、20～39歳の女性人口も平成29年6,317人から令和4年5,257人と16.8%減少しています。待ったなしの現状をしっかりと認識していただき、市長のリーダーシップでこの課題に向き合った、東金市民のための予算編成を強く要望します。

防災士の育成及び役割について

質問：令和4年3月に東金市地域防災計画が改定されました。主な改定内容の一つに「避難所開設体制の見直し」があり、これまでの、1次・2次・3次開設避難所の順位付けを廃止し、より早期に大型の避難所を開設するため、小中学校等を優先的に開設するよう見直しをしたとのこと。このことにより、災害時における避難所運営には、これまで以上の人員と防災スキルを持った人材が必要になってくると思います。

防災に対する一定の知識・技能を有する人材として日本防災士機構から認証を受ける「防災士」という資格があり、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待されています。防災士を取得する方の人数は年々増加傾向にあり、現在、市

内には62名の方が登録されています。その中には積極的に地域や職場での防災教育や訓練、そして、地域の自主防災組織や消防団の活動への参加などを通じて、周囲の方々への防災啓発活動にも取り組んでいる方もいます。

私も、令和3年8月に防災士資格を取得しました。それは、令和元年秋に発生した一連の台風等により、東金市も災害対策本部を立ち上げ、国や自衛隊の方々のご支援をいただき、停電・給水等、全庁あげての復旧活動を目の当たりにしました。中村自身も、女性の視点から何かお手伝いできないか、そしてより一層、行政と地域社会が一体となって、取り組んでいかなければならないとの強い思いがあったからです。

実際に災害が起こってしまったときに、防災知識を活かした活動ができるよう、平常時から準備しておけるような仕組みづくりが必要になると思いますが、市では防災士の役割や必要性について、どのように捉えているのか伺います。

答弁：防災士の役割ですが、災害時には、避難誘導や初期消火活動、また平常時には、地域における避難訓練や防災啓発活動などを担う役割があります。このような活動は、本市の防災力向上に大きく寄与するものと考えており、市といたしましては、今後も防災士の資格取得への支援を継続し、自主防災組織の中心的な役割として活動していくことに期待しているところです。

私の思い：災害対策は社会全体で取り組まなければなりません。日頃から、防災に関して活動している様々な人的ネットワークが重要であり、防災関係者と地域の人々が顔の見える関係を築いておくことが大切であると思います。



公立幼稚園について

質問：市長は、公立幼稚園における3歳児の預かり保育と早期給食提供について、どのように考えているのか伺います。

市長答弁：公立幼稚園の3歳児における「預かり保育の拡充」と「早期給食提供の開始」について、かねてよりご指摘いただいておりますが、もちろんある程度の必要性があるものと考えています。しかしながら、これらの事業については先に答弁したニーズや受け皿の問題、安心して預けることができる環境か、安全に提供できる体制かというリスクの議論と切り離して考えることはできません。したがって、職員の配置や施設・時期の安全性、市内のサービス提供の



状況など細かい検証に基づく担保の上で実施することが何より必要でありますので、ご理解をいただきたいと思います。

意見：「ある程度の必要性がある」とのことですが、これは「ぜひ必要」だと思います。

縁あって、東金市で子どもが生まれ、一生懸命子育てしている若い夫婦は、迷ったり、将来に不安で悩んだり、子どもの成長に一喜一憂したりしています。それでも共稼ぎで頑張ってみようという子育て世帯を助けてあげるのが、東金市の、行政の役目ではないでしょうか。

保育の認定は月の就労時間が60時間とされていますが、60時間でも保育所に必ず入れるとは言えません。毎年保育所希望者、約250名中、15名ほどの方は、保育所から、公立



幼稚園に流れてきます。希望しても保育所に入れないいわゆる「潜在待機児童」です。そこで、公立幼稚園でも預かり保育を利用できれば、このママさんたちも、安心してお仕事ができます。

国の無償化メニューでは、最大月額11,300円、預かり保育の利用料が無償となるのに、この支援を、現在の東金の公立幼稚園の3歳児は、全園で利用することができません。

市長、この「子ども・子育て支援新制度」を活用することが市民ニーズに寄り添った支援施策であり、未来への投資ではないでしょうか。

私の思い：国の「子ども・子育て支援新制度」を、当局において今一度よく確認し、活用していただきたいと思います。公立幼稚園全園での3歳児の預かり保育と3歳児の早期給食提供の実施を、強く要望いたします。

TOPICS

東金市防災訓練



11月27日(日)、東金中学校にて、東金市防災訓練が開催されました。会場では災害時に実際に使用する機材や体験型の訓練、多数の防災用品の展示もありました。

避難訓練では、避難所の開設や避難誘導、避難者受入れなども行われました。市、防災関係機関、地域住民が一体となった防災体制の構築に力を尽くして参りたいと思います。
(自衛隊の炊き出しカレーをおいしくいただきました。)

千葉県地方議員連絡協議会女性局総会・視察研修会

11月7日(月)、令和4年度千葉県地方議員連絡協議会女性局総会及び視察研修会が道の駅みのりの郷東金にて開催されました。

総会では、来賓の猪口邦子参議院議員、鹿間陸郎東金市長、高橋祐子県議会議員、鈴木ひろ子県議会議員、石井茂隆幹事長、地下政幸事務局長からご挨拶をいただきました。

研修会では、東金市内3か所の視察を行いました。東千葉メディカルセンター、山武郡市広域行政組合消防本部(水陸両用車試乗)、千葉県警察学校と見学し、大変わかりやすい説明をいただきました。とても有意義な研修会でした。

